

第 10 期 pES club シナリオ 1

平成 23 年 1 月 16 日
東京北社会保険病院 総合診療科
南郷 栄秀
<http://spell.umin.jp>

あなたは海老伝巢医科大学附属病院総合診療部に勤務する 3 年目医師です。草環佐礼太さん（65 歳男性）は現在、心不全で集中治療室に入院しています。元来、陳旧性心筋梗塞と心房細動がありましたが、今回は感冒を契機に心不全が増悪し、当院救急外来を受診しました。呼吸状態が悪かったため、直ちに気管内挿管が行われ、人工呼吸管理が開始されました。その後、心不全の治療により徐々に呼吸状態は改善しつつあります。入院 5 日目の朝の回診で、指導医の楠力雷先生とディスカッションがありました。

楠力「今日で挿管 5 日目かな」

あなた「はい。徐々に良くなってきてはいますが、まだ抜管はできないと思います」

楠力「そうだね。しばらく人工呼吸管理は必要だろうね。どうせ気管切開を行うなら、早い方がいいよ。以前は 2 週間くらいまで粘って抜管できなかったら気管切開を行っていたんだが、最近は 1 週間以内に気管切開をしてしまった方が、肺炎になるのを減らせるといわれているんだ」

あなた「気管内挿管されていると、肺炎が起こるのですか」

楠力「そうだ。人工呼吸器関連肺炎といって、気管内挿管されていること自体が肺炎を起こしやすくするんだ」

あなた「そうなんですね。では、早速耳鼻科の先生に相談して、いつ気管切開して貰えるか聞いた上で、ご家族にお話しします。1 週間以内なら、あと 2 日しかありませんから」

あなたはすぐに気管切開をする方向で話を進めることにしましたが、相談した耳鼻科の木節士泰先生からは、最近、必ずしも肺炎を防げないという論文も出たから、そんなに急いでしなくてもいいよと言われました。確かによく考えてみると、気管切開をしても気管内にはチューブが存在するのだから、痰の量は増えるし、肺炎を減らせない可能性は十分ありうると思いました。あなたは、気管切開を早期に行うことで、人工呼吸器関連肺炎が減らせるのかどうか、調べてみることにしました。

第 10 期 pES club シナリオ 1 (追加シナリオ)

平成 23 年 1 月 16 日

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

草環さんは、NYHA 分類Ⅳ度で外来を受診しました。入院後は、ラシックス®とソルダクトン®を静注で投与し、1日に500~1000ml程度のマイナスバランスで治療が経過していました。また、入院後からミリスロールを投与していましたが、3日間で中止しました。入院前に服用していたアーチスト®を中止したことによる脈拍増加に対しては、ジゴシン® 0.125mg を静注しています。現在 FiO₂ 0.6 で、PaO₂ が 85mmHg です。気管内分泌物はサラサラで多量です。カフ圧は 25mmHg です。ベッドアップ 30度を保つようになっています。

心筋梗塞については、3年前に前壁中隔梗塞を起こし、LAD #6 の 99%狭窄にステントを挿入しました。最新の心臓超音波検査では、LVEF が 45%でした。弁膜症はありません。

急性心筋梗塞で入院した際、心房細動、高血圧、脂質異常症も指摘され、治療が開始されました。それ以来、アーチスト® 5mg 分 1、タナトリル® 5mg 分 1、リピトール® 10mg 分 1、バイアスピリン® 100mg 分 1、アイトロール® 40mg 分 2、ワーファリン® 2mg 分 1 を服用していましたが、鎮静剤、制酸剤は服用していません。家族の話では、処方された薬は忘れずに服薬できていたようです。現在は内服できないので、アーチスト®とリピトール®を除く全ての薬を、胃管から注入しています。

また、挿管中なので、鎮静剤としてデュプリバン®を持続静注し、ガスター® 20mg 分 1 を胃管から注入しています。鎮静中は意識がありませんが、鎮静を切ると覚醒し、こちらの話していることはなんとか理解できているようです。

草環さんは日本人で、体格は、身長 168cm、体重 81kg です。栄養状態は、TP 8.3g/dL、Alb 4.2g/dL、体重の増減はなく、食事や水分摂取には特に問題はありませんでした。脱水はありませんが、37℃台の微熱があります。MRSA を保菌しているかどうかは、検査をしていないので分かりません。インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンのどちらも接種していません。口腔内の衛生状態は、それほど悪くはなさそうです。喫煙は、20歳から42年間、1日1箱吸っていましたが、心筋梗塞を起こしたことをきっかけに禁煙しました。運動は特にしていません。

家族は、父が心筋梗塞で、母は脳梗塞で7年の寝たきり生活の末に亡くなりました。現在、妻と息子、娘との4人暮らしです。2年前に定年退職をしてから悠々自適な毎日で、年金の給付と貯蓄で無理なく暮らせているそうです。

趣味は読書で、最近「坂の上の雲」を読み直して、再び感動したそうです。旅行も好きですが、心筋梗塞になってからは、長期間の旅行は控えています。自宅では、身の回りのことは全て自分で行って行っていました。

草環さんは挿管中で話をするのができず、気管切開のことをどう思っているか聞き出すことはできません。ただ、気管切開が必要だというあなたの説明は、理解できているようでした。

草環さんがいま一番嫌だと感じているのは、喉に管が入っている（挿管されている）ことで、できれば早く人工呼吸器を外して欲しいと思っているようです。しかし、楠力先生の見通しでは、あと2~3週間は人工呼吸管理が必要だろうとのことでした。